

●施策名

【施策3】子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」を身につけさせます  
(関連指標：指標19～指標26 (P52～P53))

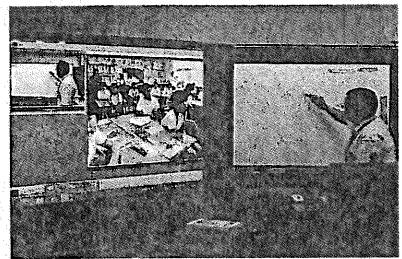
- i 少人数教育によるきめ細かな指導【再掲】
- ii 言語に関する能力の育成
- iii 学力向上のための取組
- iv 理数教育の推進
- v 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実
- vi 放射線教育の推進
- vii 防災教育の推進

●代表的な取組の進捗状況

iii 学力向上のための取組

○ 学力向上のための「つなぐ教育」推進事業

児童生徒の学力向上及び学習習慣、生活習慣の確立を図るため、県内7地域にて、自校の課題を明確にして、学校と学校及び学校と地域や保護者との結びつきを強め、連携を図った取組を推進する。



授業の様子

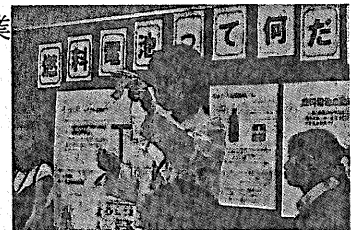
(H26実績)

県内で指定推進地域を14とし、拠点校(中学校)14校、推進協力校(小学校)36校、計50校で学校間の連携として交流授業を含めた授業研究会や学習会、地域との連携として講演会、家庭との連携として「学びのプラン」「学びの手引き」の作成などを実践した。

iv 理数教育の推進

○ ふくしまから はじめよう。未来を拓く理数教育充実事業

科学技術に対する関心と基礎的素養を高めるとともに、本県の復興を担う人づくりの一翼を担うため、理数に関して、教員の指導力向上、児童生徒の基礎基本の確実な定着、専門的な学習の充実を図る。



授業の様子

(H26実績)

- ・ 「小学生算数、理科講座事業」では、1,120名の参加者があり、算数的活動や理科の実験に取り組むことにより、参加児童の思考力等を高めた。
- ・ 「福島県算数・数学ジュニアオリンピック事業」では、郡山女子大学をメイン会場とし、県内8会場で開催した。883名の参加のもと、思考力・発想力・発見力等を問う問題に児童生徒がチャレンジした。金メダリスト8名、銀メダリスト17名、銅メダリスト34名に教育長からメダルが授与された。
- ・ 「理数教育優秀教員活用事業」では、教職員の授業力向上のため理科の授業研究会を実施したり、算数・数学科の優秀教員を積極的に活用したり、過去のコアティーチャーを各種研修会において活用したりすることにより、教員の授業力向上を図った。

- ・ 「科学の甲子園福島県大会事業」では、中学生 14 チーム 42 名、高校生 12 チーム 80 名が県大会に参加した。中学生の 1 位、2 位のチームが科学の甲子園ジュニア全国大会に、高校生の 1 チームが科学の甲子園全国大会に参加した。

v 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実

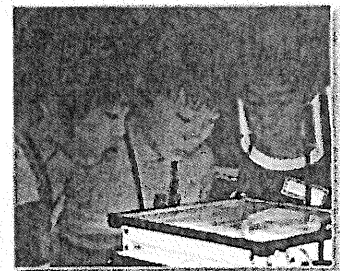
- 中山間地域インターネット活用学力向上支援事業  
中山間地域の学習指導及び学習環境の充実を図るため、町村教育委員会の実施するインターネットを活用した学力向上の取組を支援する。

(H26 実績)

南会津町と檜枝岐村の 6 中学校（計 449 人）において、年間 5 回の英語、数学の e ラーニング授業の実施、家庭学習の推進を図る通信添削教材の提供などを行った。

vi 放射線教育の推進

- 放射線教育推進支援事業  
児童生徒が、自ら考え、判断し、行動する力を身に付け、心身共に健康で安全な生活を送れるよう、放射線等に関する基礎的な知識や放射線からの防護等についての理解を深めるための取組を行う。



放射線教育の様子

(H26 実績)

- ・ 放射線教育に係る授業を実施した学校の割合（公立小・中学校）100%
- ・ 放射線等に関する指導資料「第 4 版」「放射線教育用学習教材（DVD）」の作成、指導者養成研修会、地区別研究協議会の実施、実践協力校による授業実践への支援を行った。

vii 防災教育の推進

- 防災学習推進支援事業  
学校における防災教育の一層の充実を図り、児童生徒の防災意識の向上に資するため、授業等で活用できる防災学習指導資料を作成するとともに、防災学習に関する研修会を開催する。

(H26 実績)

- ・ 防災教育に係る授業を実施した学校の割合（公立小・中学校）100%
- ・ 「放射線に関する指導資料「第 4 版」」の作成、運営協議会、地区別研究協議会の実施、実践協力校による授業実践への支援を行った。また防災個人カードを作成し県内全小中学生に配付した。

●問題点・改善等が必要な項目

① 学力向上のための取組

- ・ 小・中学校における家庭での学習時間の増加及び算数・数学における応用力強化。
- ・ 高等学校における国公立大学の合格者の割合増、成績上位者の学力強化。
- ・ 児童生徒の学習習慣の確立に向けた保護者の意識醸成。

② 理数教育の推進

- ・ 児童・生徒の興味関心を高め、数学的・科学的に考える力の育成。
- ・ 科学・技術研究論文「野口英世賞」の応募数の増加。

③ 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実

- ・ 学習意欲の向上と学習習慣の確立。

## ●取組の方向性

### ① 学力向上のための取組

- ・ 算数・数学については、基礎的な学力の確実な定着及び応用力の育成を図る取組等を行う。
- ・ 高等学校においては、学習意欲の高い生徒を育成するため、早い段階から知的探究心の向上を図る取組を実施する。  
また、学校が連携して思考力・読解力・表現力等の向上を図る取組を実施し、指導内容、指導方法等についての研究及び情報の共有化を促進します。
- ・ 小・中・高等学校を通して、地域や保護者の協力を得た取組により学力向上に資する学習習慣や生活習慣の確立を図る。
- ・ 小・中学校においては、放課後等に外部人材の活用を図る。

### ② 理数教育の推進

- ・ 理数教育優秀教員による小学生算数・理科講座の実施や、中学生・高校生を対象とした論文募集を行い、児童生徒の数学的・科学的に考える力及び科学技術に対する関心を高める。

### ③ 過疎・中山間地域の学習指導及び学習環境の充実

- ・ インターネットを活用した e-ラーニングと通信教材の活用の充実を図り、学校と家庭、学校と学校をつなぐ主体的な授業及び家庭学習に取り組む学習サイクルを確立させることにより、学習意欲及び学力向上を図る。